

お問い合わせ先：
横浜市道路局
国土交通省横浜国道事務所

「(仮称)横浜環状北西線」広報紙

であい道

(仮称)横浜環状北西線は、第三京浜道路(港北インターチェンジ)と東名高速道路(横浜青葉インターチェンジ)までを結ぶ区間で、横浜環状北線とあわせ横浜市の湾岸エリアと東名高速を結ぶ路線です。これにより横浜港の競争力強化や京浜臨海部の再編整備の促進、横浜市北部地域の交通利便性の向上等が期待できます。また、あわせて、保土ヶ谷バイパス等、湾岸エリアと東名高速を結ぶ他の路線の道路の混雑緩和が期待できます。

そのため平成15年6月より、横浜市と国土交通省は、(仮称)横浜環状北西線の計画検討を開始しました。今回の検討にあたっては、計画づくりの初期の段階から、市民等のみなさまに情報を提供しつつ、広くご意見を聴き、それらを計画づくりに反映させていく新しい取り組み【=PI(パブリック・インボルブメント)手法】を導入しています。このプロセスについての情報をお届けします。

PI【パブリック・インボルブメント：Public Involvement】
PIとは、計画づくりの初期の段階から、関係する市民等のみなさまに情報を提供しつつ、広くご意見を聴き、それらを計画づくりに反映することです。



有識者委員会、PIの取り組みにさらなる積極性と市民への配慮、求める

「(仮称)横浜環状北西線」有識者委員会は、第三者機関として「(仮称)横浜環状北西線」の概略計画の立案において、手続きの透明性・客観性・公正さを確保し、公正中立な立場からPIプロセスについて助言、評価することを目的として設立されました。これまで2回の委員会を開催し、具体的な助言がなされています。その概要をお知らせします。



第2回有識者委員会

●第1回有識者委員会(平成15年7月30日)
有識者委員会の規約について承認され、委員の互選により委員長が選出されました。その後、PIプロセス等について、ご検討いただきました。委員会の役割を中心に議論がなされ、「委員会では、PIプロセスにおけるPI手法や進め方に対する助言、評価を行うこと」で了承されました。

次に、計画検討フローについては、「次の段階に進むには、どの程度のコミュニケーションが図られれば公正性・客観性・透明性が十分と言えるのかは、今後検討が必要」等の意見が出されました。



第1回有識者委員会

また、PIの取り組みにつ

いての状況を報告したところ、「オープンハウスの開催場所は、人が頻繁に出入りするような場所がよい」、「アンケート調査については、公正性・客観性・透明性を確保すべく、アンケート案を委員会に出してもらい、その設問方法や対象者の範囲について議論をする」等の意見が出され、今回の委員会で引き続き議論することとなりました。

●第2回有識者委員会(平成15年10月3日)
PIの取り組み等について、ご検討いただきました。PIの取り組みについては、「市や県の広報紙をもっと活用すべき」、「オープンハウスでの展示パネルの一部を、区役所等の公共施設に常設展示すべき」等の意見や、「広報紙では、『意見を聴きながら進めます』とあるが、『意見を聴くだけで、どんどん進めます』といった印象を与える」、「計画検討フローについては、現在、どの段

階であるかをきちんと表示すべき」等の意見が出され、広報の手法や広報紙の記述表現について改善することとしました。

次に、今までにみなさまからいただいたご意見について、中間整理した結果を報告したところ、「今後、多くの意見をいただくためには、オープンハウス等で行政から働きかけてフェース・トゥ・フェース(直接対面したやりとり)で取り組むことに力を入れていくべき」、「意見が言いつばなしにならないよう、それらへの対応方針をいずれかの段階でまとめて公表すべき」等の意見が出されました。

最後に、アンケート調査案については、「事業所アンケートについて、農業も対象にすべき」、「オープンハウスは、点的に実施していることから、それを補う面的なアンケート調査を実施すべき」等の意見が出され、改善することとしました。

有識者委員会の助言を受けながらPIに取り組みます

横浜市と国土交通省では、有識者委員会からの様々な助言を受けとめ、PIにより積極的に取り組むとともに、さらにみなさまからご意見をいただけるよう努めてまいります。その対応として――

ポスターを公共施設で掲示しています

オープンハウスで特に注目度の高いパネルの情報を集約し、ポスターを作成しました。人の集まる施設に掲出すると同時に広報紙等の提供も行い、広く情報の発信に努めています。

ポスターの掲示は、横浜市各区役所、青葉区・都筑区・緑区の地区センター、図書館の33カ所で行っています。



JR新横浜駅でのオープンハウス(10月22日)の場です。

オープンハウスを追加開催しました

有識者委員会の設立までに、オープンハウスを5会場で開催しましたが、有識者委員会からの助言を受け、さらに8会場で追加開催しました。なお、オープンハウスは、計画の目的、今後の進め方等の情報をパネル等を用いて、みなさまにお示しし、みなさまからのご質問やご意見を聴くため

アンケート調査を実施しました

(仮称)横浜環状北西線に関する期待や懸念を把握するため、10月下旬から11月上旬にかけて横浜市民や事業所等約1万2千を対象にアンケート調査を実施いたしました。アンケートにご回答いただいた方につきましてはご協力ありがとうございました。結果につきましてはまとも次第公表します。



ご意見をお聴かせください

みなさまからの、(仮称)横浜環状北西線に関するご意見を以下の方法でお待ちしています。

はがき

パンフレット「PI-ご意見をうかがいながら」についてははがきをご利用ください。このパンフレットは、横浜市役所市民情報センター、各区役所総合案内窓口、青葉区・都筑区・緑区の地区センター、図書館、国土交通省横浜国道事務所、神奈川県庁県政情報センターでご提供しています。

電話・FAX

横浜市 道路局 横浜環状道路調整部 事業調整課
電話:045-671-2735
FAX:045-662-3945
国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 調査第一課
専用フリーダイヤル:0120-875-805 (FAX兼用)

ホームページ

<http://www.yokohama-nwline.jp/>
にアクセスして「ご意見をお寄せ下さい」をクリックして、ご意見をご送信ください。

秋色。とりどり



モミジが彩りをそえる郷土文化館前(寺家ふるさと村)

秋の深まりとともに樹々が色づいてきました。風流な紅葉狩りの歴史は古く、『万葉集』をはじめとする文献にもたびたび登場。もともとは宮廷や貴族たちの優雅な遊びでしたが、江戸時代になると庶民の間で流行し、いまや年中行事に欠かせない彩りとなっています。おだやかな小春日和。お弁当をもって、情緒豊かな秋を楽しみませんか。

(各データの図は交通です。各スポットへアクセスしやすい交通を表していますので、お出かけの参考に。また、掲載写真は昨年までのものです。天候などの変化により、色づき具合は異なる場合があります)



A 秋色の雑木林に郷愁誘う田園風景
郷土文化館前は真紅のモミジのトンネルに

寺家ふるさと村

青葉区寺家町
TEL:045-962-7414 (寺家ふるさと村案内所四季の家)
[開園]開放 [入園料]無料 [休園日]なし (村内の施設は火曜休み)
☒東急田園都市線青葉台駅から東急バス鴨志田団地行き (または寺家町循環) 終点下車徒歩3分

B 都筑中央公園から茅ヶ崎公園を結ぶ散策路
せせらぎの流れる小径にはドングリも

ささぶねのみち

都筑区在田東4丁目~茅ヶ崎南1丁目
TEL:045-351-5024 (西部公園緑地事務所)
☒市営地下鉄センター南駅から徒歩9分

C 落ち葉が舞い散る人気の並木道
約800mに約200本のイチョウが黄葉

山下公園通り



中区山下町(山下公園前)
TEL:045-211-0111 (桜木町観光案内所)
☒JR(市営地下鉄)関内駅あるいはJR石川町駅から徒歩20分



D 紅葉に囲まれた古建築が風情たっぷり
11月22日~12月14日は重要文化財の茶室公開

三溪園

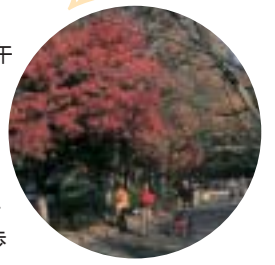


中区本牧三之谷58-1
TEL:045-621-0634
[開園]午前9時~午後5時(入園は午後4時30分まで)
[入園料]大人500円[休園日]なし
☒JR根岸駅から市営バス101系統(または58・99系統) 本牧下車徒歩7分、JR(市営地下鉄・東急東横線・相模鉄道・京浜急行)横浜駅から市営バス8系統(または125系統)本牧三溪園前下車徒歩5分

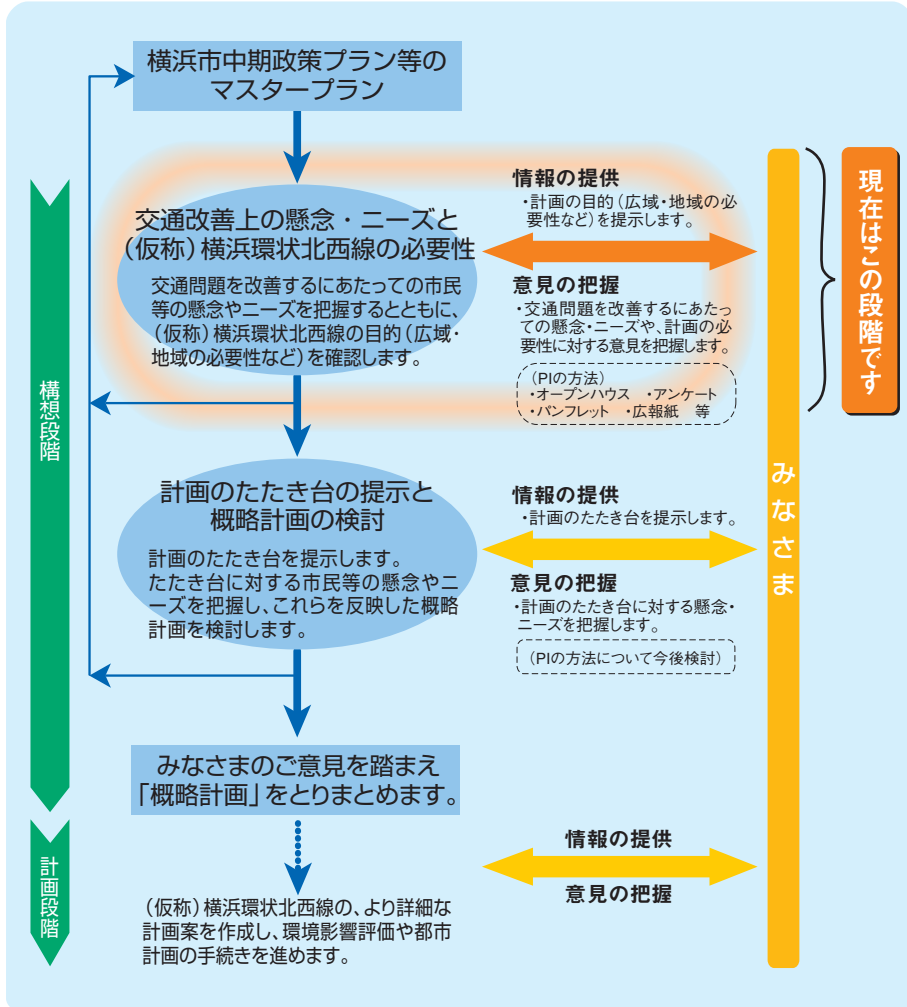
E 起伏に富んだ約1時間の散策ルート
約58haの園内のあちこちに秋の草花

金沢自然公園

金沢区釜利谷東5-15-1
TEL:045-783-9101
[開園]午前9時~午後5時(動物園は午前9時30分~午後4時30分[入園は午後4時まで]) [入園料]無料(動物園は大人500円)[休園日]なし(動物園は月曜[祝日の場合は翌日]休み)
☒京浜急行金沢文庫駅から京急バス野村住宅センター(または野村住宅南口)行き夏山坂上下車徒歩3分



(仮称) 横浜環状北西線計画検討フロー



第3回有識者委員会が開催されます

「(仮称)横浜環状北西線」有識者委員会の第3回会議が12月5日に一般公開で開催されます。

第3回有識者委員会案内

- 開催日時 平成15年12月5日(金) 午後6時から午後8時まで
- 開催場所 神奈川中小企業センター(中区尾上町5-80)14階多目的ホール
- 議題 これまでに寄せられたご意見の取りまとめについて 等
- 公開・非公開の別 公開
- 傍聴者の定員 15人
- 傍聴の申込方法 傍聴を希望する人は、神奈川中小企業センター13階特別会議室Aにて午後5時から午後5時30分まで受付。受付終了後抽選。傍聴者が定員に満たない場合は、委員会開催時刻まで先着順受付。
- 傍聴に関する問合せ先 横浜市道路局横浜環状道路調整部事業調整課 TEL.045-671-2735

委員会メンバー

- 委員長 磯部 力氏(東京都立大学 法学部 教授)
- 委員 昌子 住江氏(関東学院大学 工学部 教授)
- 高井 佳江子氏(弁護士)
- 藤野 次雄氏(横浜市立大学 商学部 教授)
- 屋井 鉄雄氏(東京工業大学 総合理工学研究科 教授)

これまでの有識者委員会の会議録など詳細については、ホームページ(<http://www.yokohama-nwline.jp/>)、横浜市役所市民情報センター、横浜市道路局事業調整課、国土交通省横浜国道事務所でご覧いただけます。

(仮称)横浜環状北西線の広報紙「であい道」は、PIの一環としてみなさまに配布しています。

▼ 問い合わせおよびご意見は下記までお寄せください。▼

横浜市 道路局 横浜環状道路調整部 事業調整課

〒231-0017 横浜市中区港町1-1
TEL:045-671-2735 FAX:045-662-3945

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 調査第一課

〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町13-2
専用フリーダイヤル:0120-875-805 (FAX兼用)

「(仮称)横浜環状北西線」ホームページ: <http://www.yokohama-nwline.jp/>